不登校分科会　テーマ　人権教育

不登校の経験から学ぶ (Re:think)

～ 自分らしく生きる力を育む温かな関り方 ～

知ることから、変わる。支えられる。

我が子の不登校に直面した時、「学力や社会性、協調性は身につくのだろうか」と不安や絶望感を抱く方も多いと思います。それは全て子どもの幸せを願うからこその親心。本分科会では、不登校ジャーナリストの石井しこう氏のオンライン講演を通じて、不登校の渦中でまず必要なのは何なのか、子どもがどのように元気を取り戻し、自ら動き出す「生きる力」にどうつながっていくのかを皆さんと一緒に学びたいと思います。更に、身近な地域で実際に行われている取り組みについてご紹介いただき、学びを深めていきます。子どもも大人も「自分らしく」前を向くためのヒントを一緒に見つけてみませんか？

【助言者】
- 弘前大学教職大学院　教授　**菊地　一文** 氏

【コーディネーター】
- ちいきの絆食堂　**中田　早樹子** 氏

【パネリスト】
- 弘前市教育委員会教育センター　指導主事　**吹田　由貴仁** 氏
- 弘前市立東中学校　校長　**長尾　朗** 氏
- Rashiku 代表　**久保　良太** 氏

会　場　**スポカルイン黒石 アリーナ**

すべての子どもに、居場所のある社会を。

キッチンカー紹介

「学んで、語ってちょっと腹ごしらえ」大会会場にキッチンカー８店舗！

出店時間
10:00～17:00

KoreanFood HAENIM 韓国ホットク		はちべえ 関西風たこやき	
JACK IN THE CURRY カレー		BURGER ZAWA THE ONE ハンバーガー	
owl.coffee.tsugaru コーヒー		いろとん やきとり	
wazze_chichen 手羽中ハーフ		timo2017crepe クレープ	

参加方法

- 下記の参加申込書にご記入の上、申込み締切日までにお子さんの在籍校に提出してください。
- 参加申込書は、青森県 PTA 連合会のホームページ（https://aomoriken-pta.jp）からもダウンロードできます。
- 大会参加費入金後、不参加となった場合、原則として返金はいたしません。
- 参加者へのお願い
  ①会場周辺の駐車場には数に限りがございますので、自家用車でお越しの場合は乗合にご協力ください。
  ②大会当日、参加証としてリストバンドをお渡しします。大会中は必ずこのリストバンドを着用してください。
- **分科会のご案内は改めて送付いたしませんので、ご参加いただく分科会会場をお忘れないようお願い申し上げます。**

キリトリ

第５８回青森県 PTA 研究大会中弘南黒平大会
参加申込書

申込み締切日 10/2（金）
お子さんの在籍校に提出

学校名　　氏名　　参加区分　（教職員・PTA 会員・その他）

①～③の全ての項目に○をつけてください。

①全体会（参加・不参加）　②分科会（第一分科会・第二分科会・第三分科会・不登校分科会）

令和８年度 第58回 青森県PTA研究大会

中弘南黒平大会

(P)ぱっぱど動いて
(T)たんだでねぇと言わずに
(A)あずましい学校生活
～新しいPTAのカタチへ、今できることを～

記念講演
弘前学院聖愛高等学校
野球部監督
原田 一範 氏
新教育論
部活動を通じた
「かち（価値＋勝ち）の見出し方」
～聖愛高校野球部から学ぶ新たな教育のカタチ～

記念講演と４つの分科会

- 土日の活動に学校の先生が参加しません ってやつでしょう？ そんなことありません！
- 負担を減らしながら活動を充実させる
- 学校・地域・家庭が協働して子どもを育てる
- 不登校になったこと

令和８年11月８日(日)
スポカルイン黒石

キッチンカーも来るよ！

主　催　青森県 PTA 連合会
主　管　黒石市連合 PTA
副主管　弘前市連合父母と教師の会・平川市連合 PTA・南郡連合 PTA・西目屋小学校 PTA

お問い合わせ　黒石市連合 PTA 事務局　9614rengoupta@gmail.com

大会概要

趣旨

無理なく参加できる PTA 活動を考え、子どもたちの笑顔と地域のつながりを育む取り組みを共に創り、明日からの PTA 活動の在り方を追求する。

参加対象

青森県内 PTA 会員および関係者 約 700 名

参加費

2,000 円

一般の方も入場可能です。

タイムスケジュール

09:15	受付
09:45	各分科会
11:15	移動・昼食 （スポカルイン黒石へ移動）
13:15	アトラクション
13:30	開会行事・表彰式
14:30	休憩（10分間）
14:40	全体会 記念講演
16:00	閉会行事・次年度開催地挨拶
16:20	終了 ・終了後、抽選会を実施

アトラクション

千葉勝弘社中

千葉勝弘氏率いる津軽民謡チーム。全国大会優勝者を輩出し、津軽手踊りや三味線、民謡の伝統を受け継ぎながら、次世代の育成にも力を注いでいます。幅広い世代が華やかな舞台を披露します。

全体会 記念講演　テーマ 人財教育

新教育論

部活動を通じた
『かち（価値+勝ち）の見出し方』
～聖愛高校野球部から学ぶ 新たな教育のカタチ～

高校の部活動を通じて生徒が得ることができたもの、そしてまた監督として寮長として、一社会人として、親として子どもたちと様々な角度から接する中、前例のない取り組みで「楽しさ」「やりがい」を追求することで結果として勝負の世界における「勝ち」だけでなく「本当の意味での価値」にたどり着くまでのプロセスから、あらゆる面で必要な「教育」について学ぶことができます。

講　師　弘前学院聖愛高等学校　野球部監督
原田 一範 氏

会　場　スポカルイン黒石　アリーナ

第一分科会　テーマ 家庭教育

協働こそPTA活動

～PTAは『Part Time Assist』～

つながる、支え合う、子どもたちの未来のために

少子化の進行、多様性の包摂など、地域における人材不足といった社会の変化の中で、CSと地域学校協働活動の一体的推進が、持続可能な学校運営と質の高い教育実践のために不可欠であることを理解できます。

学校・家庭・地域が協力してつくる持続可能な教育のカタチ

講　師　秋田大学教育文化学部　非常勤講師
皆川 雅仁 氏

子どもたちのよりよい未来をともに考えませんか？

会　場　スポカルイン黒石　大会議室

地域とつながる　みんなでつくる　子どもたちの明日

第二分科会　テーマ 協働教育

働き方改革

～対話を通してRe:学び
みんなの幸せ実践創り～

つながる
話し合う
ともに創る

対話から、学校の未来をつくる

子ども・教職員・家庭・地域
みんなの幸せな学校へ

教職員の働き方改革が叫ばれ、昨年青森県教育委員会からは働き方改革共同宣言が発表されました。また、県の教育委員会には学校の幸せ推進室が設置され、教職員のみならず子どもたちも学校の教職員も含めた新しい幸せの仕組み作りがスタートしています。子どもたちの幸せを作るために、PTAとしてできること、地域とのつながりをどう作るのかなど、PとTが対話を通して理解を深めていきます。お互いの役割を今以上に理解しあえることができます。

【講　師】
- 子育て教育コミュニティ「つみき」代表　古内しんご 氏

【パネリスト】
- 青森県 PTA 連合会理事　盛田　一栄 氏（七戸町立七戸小学校 PTA 会長）
- 青森県立三沢商業高等学校 PTA 会長　夏堀　牧子 氏（元青森県 PTA 連合会常置委員）
- 弘前市立第二中学校　校長　石田　盛彦 氏
- 弘前市立福村小学校　教頭　森谷　卓生 氏

【ファシリテーター】
- 柳澤　ふじこ 氏

会　場　弘前市立石川小中学校等複合施設
（新しい学校と公共施設複合施設を見学できます）

第三分科会　テーマ 健全育成

持続可能なPTAの在り方

～負担を希望に変える組織・活動改革の実践～

リアルな実践から、明日へのヒントを。

PTA 役員なら必ずしも考えたことがある「スリム化・効率化」についての成功例を、実体験を交えて共有してもらうことで、「明日から実践できる何か」を持ち帰ってもらうことができます。新しい何かだけではなく、実際にやってみたリアルを聞くことで、自分ごとに課題を置き換え、当事者として何ができるかを考えてもらうきっかけとします。また役職を排除し、代表スタッフという形をとることで、逆に PTA 活動をやりたい人が増え、以前よりも活動が活発化。会長などの役職者の挨拶もなくすことで、気軽に活動できる雰囲気つくりを構築した事例から、持続可能な PTA のヒントを探ります。

【講　師】
- 弘前大学教育学部学校教育講座　准教授　越村　康英 氏

【コーディネーター】
- 平川市教育委員会　指導課長　成田　和弘 氏

【パネリスト】
- 秋田市立城東中学校　PTA 会長　藤田　信 氏
- つがる市連合 PTA　顧問　白戸　和也 氏
- 松崎小学校 サポートネットワーク　代表スタッフ　小笠原　純 氏

地域とともに
子どもたちの
未来を育てる

会　場　平川市図書交流施設よみまる
2F 多目的ホール

つながる。
支え合う。
そして、未来へ。